

Lesson 0

《アルファベットの表、母音と母音字、子音と子音字》完了

英語の勉強を始めましょう。まず、下の表を見てください。

この表には、英語で使われる 26 文字が入っています。それぞれの文字には、大文字と小文字があります。

母音字	子音字				
A	B	C	D		
a	b	c	d		
E	F	G	H		
e	f	g	h		
I	J	K	L	M	N
i	j	k	l	m	n
O	P	Q	R	S	T
o	p	q	r	s	t
U	V	W	X	Y*	Z
u	v	w	x	y*	z

母音…日本語の

「あ・い・う・え・お」に似ている音と、これらの音を組み合わせてできる音、など。

母音字…母音を書きあらわすための文字。

表の一番左側の文字は、母音字です。ほとんどの母音字の名前は、日本語のあ・い・う・え・お・に似ている音だけを使って読めます。

子音…母音ではない音。

子音字…母音字ではない文字。

竹林 滋『英語のフォニックス』から。

日本語では、「あ・い・う・え・お」の5つの音を母音 [ばいん] といいます。

英語の母音も、「あ・い・う・え・お」に似ている音ですが、数はもっと多くあります。たとえば、「あ」に似ている音が3つもあります。また、「イー」は、「イ」を長くのばした音とはちがうので、「い」に似ている音は2つあることになります。さらに、「アイ」や「エイ」なども、一息 [ひといき] で発音され、

それぞれが一つの母音です。このようなことがほかにもあるので、英語には、日本語の3倍以上の数の母音があります。

もう一度、表を見てみましょう。一番左側の列に、たてにならんでいる文字を、母音字といいます。母音は「音」ですから、見ることはできません。これに対して、母音という「音」を、見て読めるようにするのが母音字で、全部で5文字あります。（大文字5、小文字5）。

なお、子音字の列にあるY（小文字はy）に、*がついています。これについてはあとで勉強します。

今回は、母音字の名前を正しく読めるようにしましょう。

A/a /エイ/ <https://www.merriam-webster.com/dictionary/a>

「えー」ではなく、/エイ/です。

E/e /イイ/ <https://www.merriam-webster.com/dictionary/e>

くちびるを左右に引いて/イイ/と言います。

最後の/イ/までしっかり発音しましょう。

I/i /アイ/ https://www.oxfordlearnersdictionaries.com/definition/english/i_1?q=i

/ア/を少し強めに、一息で/アイ/と言います。

/ア/を長めにする言い方もあります。

<https://www.merriam-webster.com/dictionary/i>

O/o /オウ/ <https://www.merriam-webster.com/dictionary/o>

「おー」ではなく、/オウ/です。

U/u /ユウ/ https://www.macmillandictionary.com/us/dictionary/american/u_1

/ユウ/は、音のあとの方を強く発音します。

(/ユウ/は、日本語の「ゆう」と少し違う音です。小さく/ィ/を入れて、/ィユウ/と教える人もいます。できるはんいで、英語の発音を真似てみましょう。)

- ＊ ここで、ABC の歌のビデオを見ましょう。母音字がどこにでてくるか、たしかめましょう。 <https://www.youtube.com/watch?v=58y-gljBl3I>

次もアルファベットの表です。この表に使われている文字は、印刷に使われる事が多く、まねして書く必要はありませんが、読めるようになりますようにしましょう。

A	B	C	D		
a	b	c	d		
E	F	G	H		
e	f	g	h		
I	J	K	L	M	N
i	j	k	l	m	n
O	P	Q	R	S	T
o	p	q	r	s	t
U*	V	W	X	Y*	Z
u*	v	w	x	y*	z

- ＊ところで、なぜ英語を勉強するのか、考えたことがありますか。次の文を読んで考えてみましょう。

今の^{せかい}世界には、たくさんの国の、たくさんの人たちが、力を合わせて考えなければなら^{もんだい}ない問題が数多くあります。様々^{さまざま}な国の人々が話し合いをするときに、一番多^{いちばんおほ}く使^{つか}われる言^{ことば}葉が英語です。ですから日本でも、誰もが英語を使えるようになるために、小学校から英語の勉強をすることになりました。

英語を勉強して、相手の英語を理解し、さらに、自分の考えや気持ちを英語で伝えられるようになりますようにしましょう。日本語は、いちばん一生懸命^{いっしょうけんめい}に勉強しなければならない「一つ目の自分の言葉」ですが、英語も、ていねいに勉強して、「もう一つの『自分の言^{ことば}葉』」にしましょう。